

Rotary Club of



国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報

vol. 28

会員数	102名	免除出席者	1名	正会員出席者	56名	出席者	57名	早退	1名	出席率	58.76%
-----	------	-------	----	--------	-----	-----	-----	----	----	-----	--------

プログラム

点鐘(12:30)／ロータリーソング(君が代・奉仕の理想)／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘(13:30)〈司会：島村拓史SAA〉

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人

〈お客様〉 米山奨学生 ミンさん

〈卓話講師紹介〉

担当：会員増強・選考委員会

卓話講師：笹木醤油(株)

代表取締役 笹木吉五郎様

演題：「老舗企業の挑戦」

笹木様は、2014-15年度会長の故笹木弘治様の甥にあたります。

〈会長挨拶〉



2月は「平和構築と紛争予防月間」です。ご承知のように、昨年2月24日「特別軍事作戦」と称して、ロシアがウクライナに侵攻いたしました。それから1年、未だ平和への道は見つかっていません。一方的な力による侵略は、国連でも非難を受けていますが、プーチン大統領は、意に介していません。

東アジアに目を向けると、中国は台湾へ軍事進攻する構えを捨てていませんし、実際5年後には実施するという観測も報道されています。北朝鮮も、たて手続けにミサイルを発射し、日本のEEZ内に着弾するものもあり、本当に困ったものです。

「平和構築と紛争予防月間」と言っても、国同士の紛争については、個人としては、なかなか難しい問題です。それでは、私たちは何が出来るのかというと、今までやってきた、地道な国際交流や、草の根の交流を通じて、心を通わせ文化や宗教を認め合い、同じ人間として理解しあうことが大切で、理解を通して、紛争が起らないようにすることが出来ると思います。

ロシアには「朝は、前の晩より賢い」という諺があります。私たちは、日々様々な経験をしています。素晴らしい成功や喜びもあれば、心を痛める失敗や後悔もあるでしょう。どんな経験も、かけがえのない大切なものです。それぞれを糧にして、私たちが磨いてくれ、前に進める力を与えてくれるものです。今日を懸命に生き、明日は一層成長した自分に会いたいものです。ロシアの人達、とりわけプーチン大統領にも、明日はもっと賢くなってほしいものです。

さて、本日は理事会が開催されましたので、報告させていただきます。

・新会員推薦：3名(新入会2名、転勤に伴う後任の入会1名)

が承認されました。

・細則の変更：修正の上2月14日ポストティング、2月28日臨時総会を開催予定。

・IM中止に伴う例会開催：2月21日例会開催、イニシエーションスピーチ 広瀬会員、丸山会員。

・お花見夜間例会：4月4日から3月28日に変更(於氷川会館)

・氷川神社植樹奉賛：10万円、4RC払い戻し金より支出。

・小江戸春祭り協賛：1万円、少年サッカー大会協賛：10万円。

・他クラブ周年記念式典：熊谷RC70周年、世田谷RC60周年、川越小江戸RC50周年。

〈米山奨学生ミンさんからの米山奨学金御礼の挨拶〉



皆さん、こんにちは。本日も貴重な奨学金をいただき、ありがとうございました。私の近況を報告します。1月14日に、新奨学生の面接がありました。私もサポーターとして、学生のお手伝いをしました。面接を受ける学生の中に、私の友人がいました。面接に向けて、その友人と、必死に練習を重ねました。1月の31日に、結果発表があり、私の友人も無事合格することが出来ました。私は、他の人の役に立つことができ、嬉しく感じました。2月3日に、大学のゼミ生と、JALの見学に行きました。元々、客室乗務員の制服が好きで楽しみにしていたのですが、当日は、今まで見たことのない飛行機の整備場などを見学させていただき、いい体験で、充実した一日でした。最近は、就職活動、勉学等、頑張っています。今後とも、色々な経験をお持ちの皆さまよりアドバイスをいただきたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

〈次週卓話〉

イニシエーションスピーチ 久保田会員、小峰会員

幹事報告

2022-23年度 幹事 野溝 守



・2月のロータリーレートは、1ドル=130円(1月132円)

・本日の配布物：会報

・2024-25年度ガバナー候補者の公表：五十幡和彦様(行田さくらRC)

・2025-26年度ガバナー候補者推薦依頼：4月8日までに地区指名委員会事務局へ提出。

・国際大会地区主催ツアー及びガバナーナイトは中止。

・ロータリー希望の風奨学金より、募金のお礼状が届いています。

・川越小江戸アクティブロータリー衛星クラブより、ウクライナ支援(カイロ)のお礼状が届いています。

・ロータリー手帳申込回覧：2月21日例会締切です。

・2月14日例会より、テーブルの飛沫防止アクリル板を撤去します。引き続きマスクの着用及び感染対策をお願いします。

・本日、地区第1Gの会長・幹事会に参加します。

ニコニコボックス(小川修一郎委員長)

●笹木醤油(株)代表取締役笹木吉五郎様、本日の卓話「老舗企業の挑戦」楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。(会長、幹事)

●米山記念奨学生ミンちゃん、日本の厳しい寒さに負けず頑張ってください。(会長、幹事)

●本日の卓話の担当は、会員増強・選考委員会です。笹木吉五郎様宜しくお願いします。楽しみです。(栗原)

●笹木吉五郎(正司)さん、卓話楽しみにしています。(藤井)

●笹木さん卓話ありがとう、社長の活躍はテレビ等で見てうれしく思います。お父さん(豊彦さん)も喜んでいると思います。(立原パストガバナー、馬場(常)、小杉、塩野、小峰、西澤、馬場(弘)、神谷、小林、柏倉、鈴木(壮)、相原、岩堀、吉澤、水村、齊藤(智)、住谷、島村、西川、坂口、小川、小高、片山、青柳、近藤、山崎、金剛、和田)

●本日の卓話楽しみにしております。6人目のお子様の懐妊の予定はいつごろになりますか?母子家庭の会(ボッシーズ)代表(松山)

●米山奨学生ミンさんようこそ。(小高)

●新しい「絵はがき」作りました。宜しければどうぞ!!(吉崎)

●結婚記念日お酒ありがとうございました。(柏倉)

●誕生日祝いでお菓子をいただきありがとうございます。家族でおいしくいただきました。(洞井)

●早退1名(敬称略) 合計49,000円

〈ユニーク賞〉

山口(裕)会員、須賀会員、島村会員

出席報告(近藤武弘委員)

卓話(会員増強・選考委員会)

講師：笹木醤油(株)代表取締役 笹木吉五郎(12代目当主)様

演題：「老舗企業の挑戦」

只今ご紹介いただきました、笹木醤油の笹木です。本日は、貴重な機会をいただきました、ありがとうございます。

笹木醤油は、今年で創業234年を迎えます。私が、高校3年生の時に父が急逝し、その後叔父が継ぎ、その叔父も5年前に急逝し、私が社長を引き継ぐことになりました。私は社長になり、JCの頃に学んだ泥臭く、青臭く、一生懸命やることをモットーに、笹木醤油の醤油を品評会に出すとか、従業員のモチベーションを上げるような中小企業の賞を目指してガムシャラにやってきました。社長になり2年目の2019年に「金箔しょうゆパーク」を開業し、更に新規事業として2020年に、地元の美味しい卵やイチゴを使った「バウムクーヘン」の製造・販売を始めました。

現在、伝統的な製造方法で製造している醤油は、当社や松本醤油様など、日本の醤油出荷量のわずか1.8%です。残りの98%は、大きなステンレスのタンクで、人工的に温度を上げて、半年程度で完成させています。当社は、伝統的な木の桶でもろみを仕込んで、1年から2年、ゆっくり発酵熟成させています。この伝統的な製造を堅持する醤油蔵として、2016年より、桶職人来ていただき、毎年1個ずつではありますが、木桶を製作しています。私が社長に就任した2018年には、初となる埼玉県産木材100%使用の20石の大桶を完成させました。今、日本には大桶職人は30人もいないと言われています。当社は、大桶を作る伝統的な技術をしっかりと継承していけるように、大桶職人の居る佐渡島に行ったして、技術の継承の取り組みを行っています。

また、海外への輸出にも力を入れています。社長になり5年間、輸出売上を毎年2倍に伸ばし、今ではフランス、スペイン、ドイツ、アメリカを初め、世界12か国に販路展開を行っています。

今は、スーパーなどには、色々な醤油が溢れていて「モノ余り」の時代です。醤油を単に売るだけの「モノ消費」から、醤油を作る体験などの「コト消費」をテーマに、コロナ前の2019年11月に創業230周年記念事業として、「木桶醤油文化」の発

信拠点となり、未来にその文化を繋いでいけるよう、“食べる”・“学ぶ”・“買う”・“遊ぶ”の4つのテーマを楽しめる体験型複合施設「金箔しょうゆパーク」をオープンさせました。現在までで、来場者数は17万人を突破し、「しょうゆ楽校(工場見学)」入学者数も、5万人を突破し、まもなく6万人に到達します。多くのメディアにも紹介いただいております。「しょうゆパーク」の一番の目玉は、“学ぶ”をテーマとした工場見学です。60ページぐらいの教科書を作り、子供たちに、醤油製造での微生物の働きや、発酵について学んでもらい、また、もろみを絞る体験などをしていただいています。年に数回は、社長のプライベートツアーとして、子供たちと一緒にもろみを仕込み、1年後に出来上がった醤油を味わっていただくという体験にフォーカスした取り組みも行っています。工場見学後に、併設レストランで、醤油の美味しさを、うどんの出汁・つゆで味わっていただいております。

2020年4月には、しょうゆパーク内に、川島町の特産物の「卵」や「いちご」を使ったバウムクーヘン製造工房「木桶バウム工房」を新規事業としてオープンさせました。何故「バウムクーヘン」なのかと言うと、醤油は1本購入すると使い切るまで半年から1年かかり、お客様の来店頻度は少ないです。「バウムクーヘン」は、直ぐに食べ切り、3～4日後に、また来店いただけるので、お客様の来店頻度を上げることが出来ます。コロナ過ではありましたが、巣籠り消費で、美味しいものを自宅で食べたいというニーズがあり、予定をはるかに超える売上があり、昨年、蔵造りの街並みに2号店をオープンさせることが出来ました。

私が目指すのは「日本一、笑顔をつくる醤油蔵」です。その笑顔とは、働いている人の笑顔であり、お客様の笑顔であり、何より地域の皆さまの笑顔を作っていきたいと思っています。この地域に醤油蔵があつて良かったなと思っていただけのような、そんな醤油蔵になって行きたいと思います。

しょうゆパーク・バウムクーヘン事業など色々な挑戦が出来たバックボーンにいて、僭越ではありますが、当社の「人材育成・組織論」について、お話をさせていただきます。

よく経営の格言に「会社を潰すのは社長、会社を伸ばすのはナンバー2」という言葉があります。社長として勉強し続けることも重要ですが、当社が増収増益を続けられるのは、「会社を伸ばすナンバー2」が居ることだと痛感しています。ナンバー2が自分で考えて実行してくれることが、当社が色々な事業に挑戦し、成長できる源泉だと思います。当社の人事は、勤続年数や経験だけで判断せず、会社の価値観に合っているか、お客様目線と考えられるかを重視し、おもいきった抜擢人事を臆さず行っています。そのために、事業の責任者(社長)は、できる限り多くコミュニケーションの時間をつくり、価値観(想い・情熱)の共有をはかり、一番大切にしてほしいことだけ(例えば、バウムクーヘンなら、100年続く安心安全な美味しいものを作りたい)を伝え続け、あとはおもいっきり任せることが重要だと考えています。

当社の全従業員の3分の2以上が女性ですので、ライフステージの変化に柔軟に対応し、パートから社員への登用制度を設け、パートも在宅勤務で企画・デザインなどで活躍でき、子連れでも出勤できる制度の導入など、女性が活躍できる制度を積極的に推進しています。

100年に1度の国難、コロナショックの中で、昨日よりも今日、今日よりも明日、お金(会社の現預金)をどう増やすか、キャッシュポジション、バンクフォーメーションをどう構築するかなどの「財務のコト」の勉強も、社長として重要だと考えています。また私には、子供たちが、この醤油蔵で、この伝統産業で働いてみたいと思うような高収益型事業構造にしたいという想いが常にあり、現在では、社員に会社の経営計画・財務状況(売上・変動費・粗利益・固定費・営業利益)をオープンにし、毎月社員部門で月次数字のチェックを行っています。それにより、社員が我が事として、自分たちで改善方法などを考えるようになり、変わってきたことが実感できます。

最後に、川越蔵造りの街並みに、来年30年になる「笹木醤油川越」と、昨年川越市政施行100周年を記念してオープンしたバウムクーヘンの2号店「川越バウムラボ」がありますので、是非、皆さまお越しいただければ幸いです。